

報 告 書

開催日時	平成28年8月4日(木) 19:00~20:45	
開催場所	光岡公民館	
出席議員	(1班) 嶋崎、大谷、古田、坂本(茂)、安達	
	班 長	大 谷
	司会者	坂本(茂)
	記録者	安 達
参加人数	26名	
主な要望 ・ 提言等	○A氏 1. 人口減少に対応するための戦略(戦略)ということであるが、いろいろメニューがありすぎる。力を入れたいポイントは何か? 若者の雇用が一番大事であり、必要と考えるがどうか? <div data-bbox="376 831 1485 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">若者の定着には、企業誘致という意見もある。市としても取り組んでいるが、なかなか難しい。地域にある中小企業の活性化を図るために、中小企業支援センターを作った。その結果として雇用の拡大につながればと考えている。</div> 2. 戦略を立てるなら、「活性化、活性化。」というだけでなく、目標数値をきちんと定めて、取り組むべきである。 <div data-bbox="376 1265 1485 1411" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">日田市版総合戦略の進捗について、目標数値は設定している。今後も、毎年見直しをするので、議会としてきちんとチェックしていきたい。</div> 3. キヤノン、TDKなどの誘致した企業との交流を図るべきである。定期的に交流会議を開いて、情報交換し雇用の推進を図っていくべきである。 <div data-bbox="376 1603 1485 1700" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">貴重な意見として、検討していきたい。</div> ○B氏 1. 企業誘致の必要はない。面積、用地の価格、立地条件などから、日田は難しい。それより、日田に住み、久留米方面の近隣の工場等に通勤するための公共交通機関の整備が重要である。 <div data-bbox="376 1989 1485 2049" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">都市圏へ通勤できるJR、バスなどの交通手段を、充実すべきである。</div>	

2. 企業・ものづくりも大事だが、豊富にある資源や地域の特色を生かし、観光の産業化を進めた方がよい。

観光産業は、すそ野の広い伸びしろがある産業である。インバウンドをはじめ、今後、より以上に力を入れていくべきである。地域の特色を生かした観光については、今年度より奥日田誘客促進事業として取り組む。まず、観光資源を生かすため、マーケティング調査などを実施し、奥日田デザイン会議を設置し、取り組む予定である。

○C氏

豆田の道路舗装が傷んでおり、つぎはぎだらけの残念な状態で、観光地にふさわしくない。

豆田の道路の件は、舗装のやり変えに向けて計画中との事である。同じように、パトリア付近、天ヶ瀬温泉街でも同様に問題となっている。観光地にふさわしい景観となるよう、議会としても、費用等の問題も含め、対応していく。

○D氏

1. 日田市の財産である「水」について、水質浄化などの水問題に取り組んでいる市民団体とそれらの団体の取り組み状況は？

(水質が悪く汚れている。日田の水は、臭いという来訪者の声があった。)

水問題に取り組んでいる団体は、10以上あると思われる。その中心的な役割を担っているのが、自治会連合会長が代表である水郷ひた再生委員会である。その水郷ひた再生委員会から、6月議会に清流復活に対する請願があった。「水郷ひたの清流復活に関する請願」で、内容は①大山川の水量増加等による環境改善②三隈川の湛水域の水質改善③高瀬川の清流バイパス設置④水郷ひたの清流復活に関することの4つであった。

2. 日田市、日田市議会として、水質改善にどう取り組んでいくのか？

6月議会において清流復活に対する請願があり、日田市議会は、この請願を全会一致で採択した。この流れの中で、水郷ひた再生委員会は、11月に、パトリア大ホールで清流復活に関する大会を行う予定であると聞いている。

○E氏

1. 花月川の改修工事の進捗状況について把握しているのか？

国土交通省の花月川の工事をはじめとする河川関係事業は、平成28年度終了予定となっているが難しいような気がする。工事の進捗については把握していないので、市、国交省に確認して、後日連絡するなどの対応をしたい。
(F氏より)

花月川河川工事事務所より連絡があり、10月から工事に入るとのことであった。北友田1丁目では町内回覧を行ったとの報告あり。

2. ごみの不法投棄、河川をきれいにするため、チェックしてほしい。

ごみの不法投棄については、定期的なパトロールを行っているが、ご意見のあった状況を踏まえ、河川等に関して、さらに取り組みを強化するよう関係部署に伝える。

○G氏

1. 若者が家庭を持ち、子供を育てられる環境づくりをすべきである。そのためにも、企業誘致は必要である。ネット社会に対応する企業などの誘致をしてはどうか？石井や有田の工業団地には、企業が2割程度しか入っておらず、空いていると聞いたが？

有田にあるウッドコンビナートの空いていた団地は、企業誘致が進み、100%利用できている。

2. 若い人たちを大切にす施策を実施するべきである。

日田市の若者支援、子育て支援政策は、他市に比べて手厚く充実している。具体的には、妊娠、出産、子育てに関する事業、3世代住宅リフォーム補助、2子、3子の保育料無料化などがある。

これらの施策があり、住みやすい日田市であることを、外に向かって、広く情報発信していく手法をとることが必要である。

3. 将来的に、日田でも介護難民が出る可能性が強い。介護士の増員などが必要である。

介護の問題は避けて通れない。国の動向や状況を把握し、介護難民が出ないように、しっかりとした対応をしていかなければならない。

4. 大山町の田来原公園をはじめ、観光資源である大原しだれ桜などの活用などを積極的にする必要がある。

大山町の田来原公園は、大山ダムの関連事業として、長い年月をかけ、地元との協議を重ねた結果、現在の公園が完成した。今後、地域資源として、地元、市が有効活用していくように、議会として見守っていく。

○H氏

市全体の公園の配置を再検討してほしい。人口の増加した地域で、公園のない地域が出てきている。現状にあった見直しを行い、将来計画を立ててほしい。子供たちの遊べる場所の確保、災害時の対応なども含め、地域コミュニティーを支える場所としても必要である。

今まで、借地公園で対応してきたが、大事な意見と受け止め、今後について議会の中でも協議、検討していきたい。

○I氏

今回、市議会だよりの改編により、非常に読みやすく、質問と回答の要旨がはっきりしており、わかりやすくなった。今後とも、いい紙面づくりに努めてほしい。感謝と今後の要望です。

編集委員会に、お褒めの言葉をいただいたと伝えておく。